



全五冊  
 曲其主人編  
 南總里見大傳第九輯  
 下煖下  
 下煖中  
 下煖下  
 卷上式拾丁  
 丁子屋正兵衛板  
 重工負秀



特別  
 4  
 600  
 23



九七



















大銅局北  
人々  
備端

今日人の罪を論ずるは  
彼れ我れを論ずるは  
他れ我れを論ずるは  
人の化して良善なる日あり  
都の寛く人の幸ありと  
是れ即ち本を以て  
子孫を憂ふは  
坐する大山  
ゆるる毛野  
情願の言  
他と異水

古風公卿敵と傲あり  
獄の字り名諸あり  
あつたつと心て  
同乎在介  
共信  
の暇

言の再四同答も... 見又化理八教... 骨原の知れ大後疎... 竹下路にかたれ... あり人のいよ... 悲るはとん... 五子教果... 衆中も... 必也千代... 言の再四同答も... 見又化理八教... 骨原の知れ大後疎... 竹下路にかたれ... あり人のいよ... 悲るはとん... 五子教果... 衆中も... 必也千代...

権  
檻

言の再四同答も... 見又化理八教... 骨原の知れ大後疎... 竹下路にかたれ... あり人のいよ... 悲るはとん... 五子教果... 衆中も... 必也千代... 言の再四同答も... 見又化理八教... 骨原の知れ大後疎... 竹下路にかたれ... あり人のいよ... 悲るはとん... 五子教果... 衆中も... 必也千代...





第五十七回 上總の民を三度再田を奪く  
舟房侯仁心軍令を定む

大目大夜毛野大川莊介大山道節大銅現八を垣内親政箱所より千代丸豊  
後主密議果し不僞居所をかたきし隨便大塚信乃と大目小文吾の件  
事の趣を述ゆ多し告知する信乃小文吾ハ力二尺八寸半の便重と致し  
這里より箱所真以事の旨を詳しき事とせしむる御威儀は  
後とも世に傳ふ如く我の上目言を承りし名野やと共先相計ひし後  
と直にお礼豊後にも命をんとせしむるも野やと共先相計ひし後  
修するもよ上族の上人とて世に共信しと致し君所へまわし別業成主  
負おの討ひ豊後へ承服通する事重の便に備地ふしとて承り承り  
豊後へもこのまを野の方すし任まるとし其持以て買置候所左右を程

十一月八日書信ありし時候隊武藏の在りし里見の同謀見しが夜毎に快  
船の舟り来りしゆか下まき敵地の動靜を往進を懸け舟谷本所  
城より加勢の諸侯漸々よつ有朝のゆえあり其隊の大将山内顯元  
父子を首とす諸侯成火石濱の千葉自胤白井の長尾景春越後の  
多分おとすのまじりしをたおぼせしむるに諸侯主たる宝思上里具の義  
服の大刀自及両管領舟谷山内府下の諸侯主たる宝思上里具の義  
白石宣勝小幡東良をもち杖をもちし白井の長尾の武藏相模の野武  
士が招きし聚ひしと両管領隊隊者壁京群を廻ししを内中山内顯  
元定入りし本月朔に十二月朔に鎌倉を少陣し二日三日の地取すの城  
乃とて風塵あり又相模の大海長岡甲斐の武田信昌加北條長  
氏の慶より或は子息或は親族を大将あり加勢ありしと定むるも  
ゆゑに同の嫡男三浦景高の御孫を引く旗本百餘人を遣はす





討ひをす。道悪非之。後い。か。中。但。海田。越。松。之。龍。
 上。利。日。之。助。弘。世。の。為。主。僕。年。身。の。計。画。を。成。へ。枕。を。天。津。九。之。四。甲。
 買。明。也。と。稱。呼。す。武。具。一。て。其。計。画。の。中。に。各。二。十。名。許。の。鐵。甲。を。撰。び。
 幸。ま。り。則。兼。荒。川。向。家。老。と。稱。す。諸。軍。に。大。敵。封。域。を。灌。ぎ。
 耳。た。え。あ。の。故。今。も。も。と。も。運。送。の。途。に。諸。將。配。を。定。め。り。と。も。人。は。
 り。と。も。高。一。の。數。回。に。仕。ま。り。為。り。の。推。進。を。行。ふ。主。守。の。計。画。之。助。
 發。出。の。節。に。無。事。と。絶。え。家。を。嗣。に。廢。す。祀。と。具。と。も。て。て。是。の。計。
 身。有。窮。す。と。病。多。く。軍。旅。に。從。ひ。し。り。の。故。に。臣。は。世。の。終。
 代。に。死。す。と。決。意。す。と。も。決。意。す。と。も。願。ふ。神。餘。全。勝。す。由。來。の。
 犬。士。の。隊。子。所。す。り。と。も。只。情。願。先。美。也。け。り。と。も。義。成。則。九。之。四。甲。と。も。

通。り。み。る。と。計。画。の。中。に。各。情。願。所。以。る。な。り。わ。ね。と。人。各。其。主。の。計。
 内。他。を。見。え。し。と。も。星。之。助。と。も。仕。へ。し。と。も。那。身。を。終。り。と。も。
 心。大。事。と。も。願。ふ。神。餘。全。勝。す。由。來。の。
 奇。策。也。と。も。皆。金。碗。宿。務。と。も。星。之。助。と。も。代。り。と。も。足。り。支。考。子。に。
 為。り。と。も。敵。將。の。計。画。と。も。只。情。願。先。美。也。け。り。と。も。義。成。則。九。之。四。甲。
 管。見。と。も。其。願。ひ。の。許。し。を。受。け。し。と。も。速。に。計。画。を。行。ふ。と。も。
 威。威。我。と。も。願。ふ。神。餘。全。勝。す。由。來。の。
 仁。と。も。命。の。人。皆。惜。め。し。と。も。計。画。を。行。ふ。と。も。
 上。利。日。之。助。其。死。より。重。死。可。已。と。も。計。画。を。行。ふ。と。も。
 後。利。日。之。助。其。死。より。重。死。可。已。と。も。計。画。を。行。ふ。と。も。
 計。画。を。行。ふ。と。も。

徳無











天保十己亥年  
夏四月二十七日稿了

著者作堂子集

筆  
福 硯 齋

大吉和  
市